

取り扱い説明書

本取り扱い説明書は保証規定に関する記載があります。
紛失しないように保管してください。



耳あな型

Oticon Own™

Made for
iPhone | iPad | iPod

Works with
android 

oticon
life-changing technology

製品について

本取り扱い説明書は、Oticon Ownファミリー製品群の以下の補聴器モデルと電池サイズ、スタイルに対応しています：

FW 1.0

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| <input type="checkbox"/> Oticon Own 1 | GTIN: (01) 05714464060986 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Own 2 | GTIN: (01) 05714464060993 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Own 3 | GTIN: (01) 05714464061006 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Own 4 | GTIN: (01) 05714464061013 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Own 5 | GTIN: (01) 05714464061020 |

電池サイズ

- 10 312

Bluetooth®通信機能 Yes No

スタイル

- IIC オーティコン最小サイズの補聴器
(Invisible-In-the-Canalの略)
- CIC IICに続く非常に小さいサイズの補聴器
(Completely-In-the-Canalの略)
- カナル オーティコン耳あな型補聴器の標準的なサイズです
(In-the-Canalの略)
- ハーフ カナルよりやや大きめの補聴器です (Half Sizeの略)
- フル 様々なタイプの難聴に対応する、より大きなタイプの補聴器
です (Full Sizeの略)

取り扱い説明書について

この取扱説明書では補聴器の使用方法や取り扱い方法を説明しています。補聴器の機能を最大限に活用いただくためにも『**注意事項**』の項目を含めて、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

聴覚ケア専門家がユーザーのニーズに合わせて補聴器を調整します。詳しくは聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

聴覚ケア専門家（補聴器専門家、言語聴覚士、耳鼻咽喉科医、補聴器販売店スタッフ）は、必要な教育を受け、聴覚に関して専門的観点から評価でき、難聴者に対して補聴器を選択、フィッティングを提供でき、リハビリテーションを行える人物です。

*国によって職種が異なる場合があります。

この取扱説明書を活用いただくために、本取扱説明書には項目別の目次がついています。この取扱説明書は大切に保管ください。

| 製品について | ご使用前に | 取り扱い | オプション | 耳鳴り | 注意事項 | 追加事項 |

使用に際して

使用用途	補聴器は音を増幅し耳に届けます。
使用上の注意	個々の周波数構成による、難聴の軽度(25dB HL*)から高度(80dB HL*)までの範囲の感音性、伝導性、または混合タイプの両側性または片側性聴覚障害
対象ユーザー	補聴器ユーザーとその介護者。補聴器のフィッティングを担当する聴覚ケア専門家
対象ユーザー年齢	成人
使用環境	屋内並びに屋外
禁忌事項	36か月未満の乳幼児には適しません。** 体内埋め込み型インプラントをご使用の場合は、補聴器を使用する際、特別に注意が必要です。詳細は注意事項を参照ください。
臨床的ベネフィット	生活の質(QOL)を向上する目的で、より楽なコミュニケーションのために、より良い言葉の理解を提供する設計をしております。

* 米国音声言語聴覚協会(asha.org)によって指定された、0.5、1、2 kHzの純音平均を使用。

** 現在の小児用補聴器のガイドラインに基づく、耳あな型補聴器は、通常、年齢に関係なく検討されていません。しかし、特別な事情がある場合、またケースバイケースで、専門家が36ヶ月以上の子どもに耳あな型補聴器を選択することがあります。

重要なお知らせ

補聴器は、補聴器の専門家、また補聴器販売に関わる専門スタッフによってお客様の聴力及び個別の条件にあわせたフィッティングによって調整及び最適化を行う管理医療機器です。

目次

製品について

補聴器のスタイルについて	12
10A電池タイプ	13
312電池タイプ	14
補聴器の左右表示	15
マルチツール(電池交換とお手入れ用に使用)	16

ご使用前に

電源スイッチの入/切	18
電池交換のタイミングについて	19
電池の交換	20

取扱い

補聴器の装着のしかた	22
補聴器の取り出し方	23
補聴器の毎日のお手入れ	24
耳垢防止フィルターの交換	26
ミニフィットプロワックス耳垢防止フィルターの交換方法	27
マイク保護 Tキャップの交換方法	28
マイク保護 Oキャップの交換方法	29

	プログラムの切り替え (オプション)	30
	プッシュボタンを使用しての音量調節	32
	ボリュームコントロールを利用したの音量調整 (オプション)	33
オプション		
	消音 (ミュート)	34
	機内モード	35
	iPhone, iPad, iPod touch とつなげて使用する	36
	Android 機器に接続して使用するとき	37
	外部機器とのワイヤレス接続	38
	その他オプション機能	40
	オプション機能およびアクセサリ	41
耳鳴り		
	耳鳴りサウンドサポート (オプション)	42
	耳鳴りサウンドジェネレーター使用者のためのガイドライン	43
	サウンドオプションおよび音量調節	44
	使用時間の制限	49
	耳鳴りサウンドサポートに関する重要な事項 (聴覚ケアの専門家の方へ)	50

目次

	耳鳴りサウンドサポートに関する注意点	52
注意事項		
	注意事項	53
追加事項		
	より良い聞こえのための7つの簡単なステップ	60
	防塵・防水対応について (IP68)	64
	動作環境について	65
	保証とアフターサービス	66
	国内保証	68
	国際保証	70
	性能一覧表	72
	技術適合基準、安全基準および認可番号	94
	補聴器の設定	99

補聴器のスタイルについて

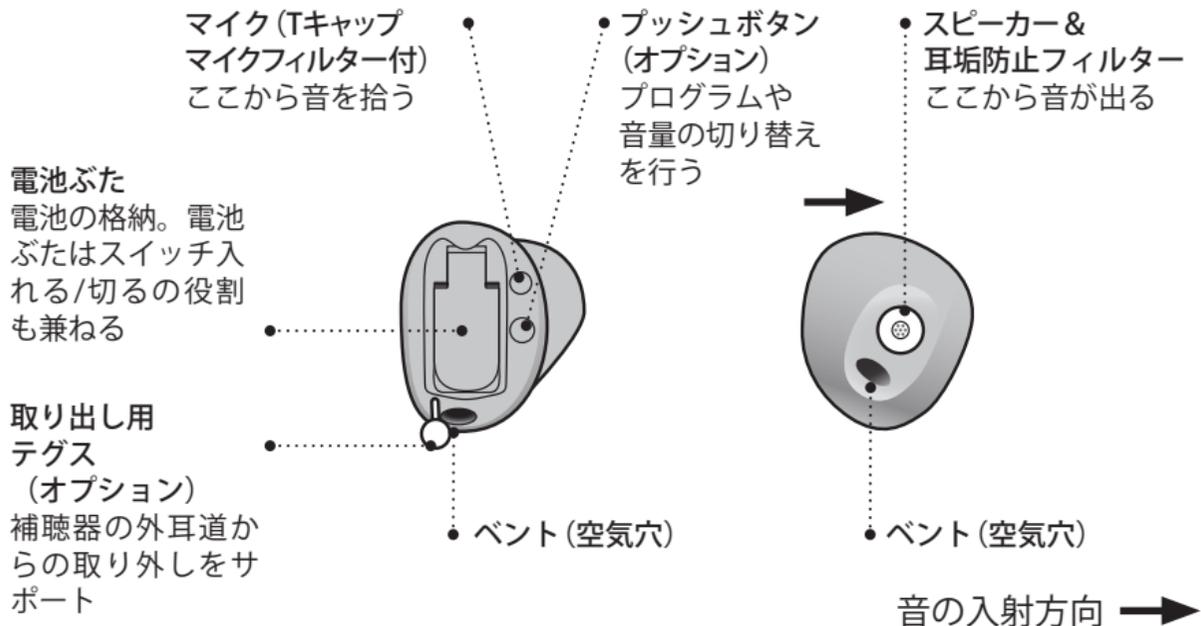
耳あな型補聴器には、いくつかの異なるスタイルとサイズがあります。

お使いの補聴器に該当するスタイルを把握いただくことで、取り扱い説明書のうち、該当する箇所を参照いただきやすくなります。

10A電池タイプ

(CICを例として)

各部名称と役割

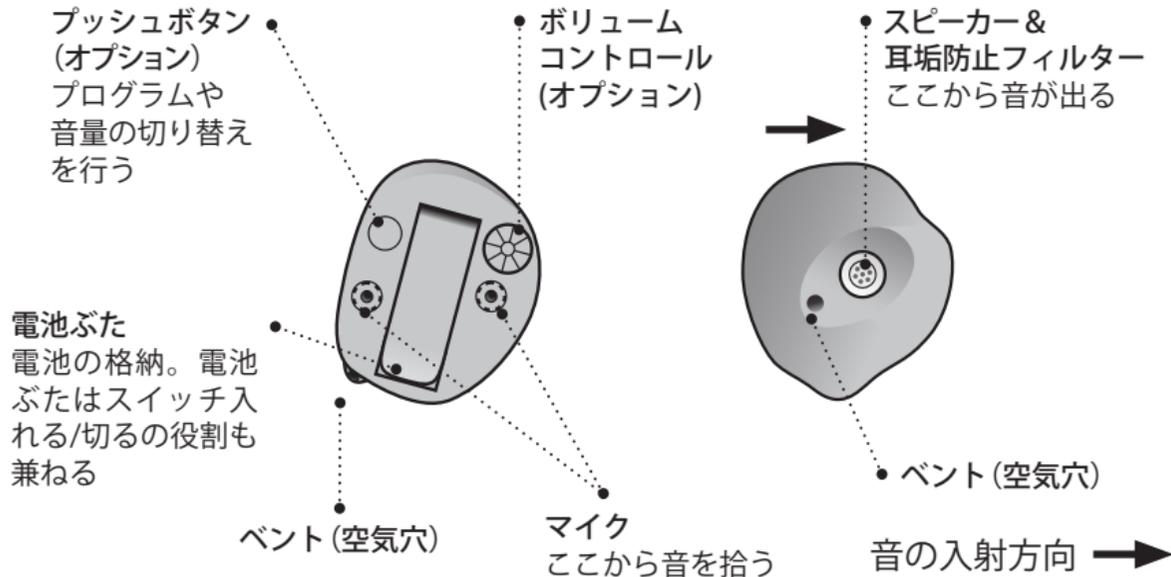


耳あな型補聴器は、お客様の耳の形状に合わせて作成されるため、各部の設置位置が異なる場合があります。IICにはプッシュボタンはつけられません。

312電池タイプ

(カナルを例として)

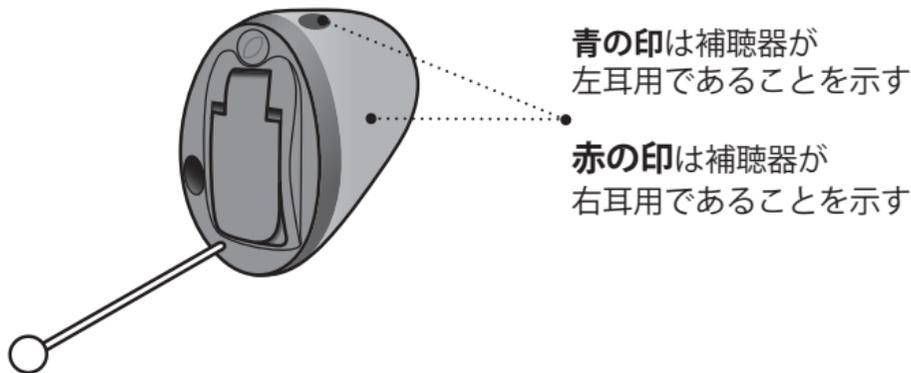
各部名称と役割について



耳あな型補聴器は、お客様の耳の形状に合わせて作成されるため、各部の設置位置が異なる場合があります。

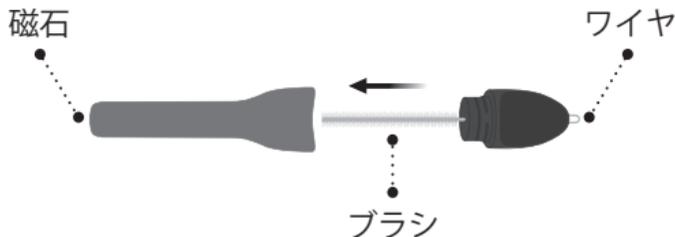
補聴器の左右表示

補聴器は左右各耳に合わせて調整されています。2つの補聴器をお持ちの場合には、設定がそれぞれ違いますので、補聴器を両耳でお使いの場合には、必ず右耳用と左耳用を確認して挿入してください。オーティコンの補聴器には、下図の通り、補聴器本体の上部に左右を見分けるための刻印がされています。



マルチツール（電池交換とお手入れ用に使用）

マルチツールの磁石を活用いただくことで、電池がより簡単に交換できます。マルチツールはカバーを引き抜くとブラシが入っています。補聴器を長くお使いいただくために、マルチツールを使って、お手入れをしてください。カバー先端のワイヤとともに、モールドの耳垢の掃除にお使いいただけます。補聴器販売店では補聴器の掃除用の道具をご用意しています。



重要なお知らせ

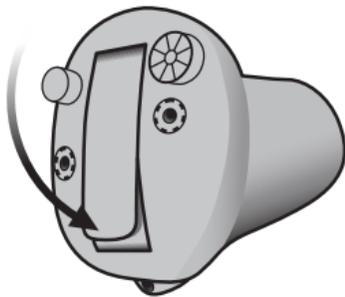
マルチツールは磁石を内蔵しています。クレジットカードや磁石の影響を受ける恐れがある機器類からは最低30cm離して保管してください。

電源スイッチの入/切

電池ぶたは、補聴器の電源のオン/オフスイッチとして機能します。電池を長持ちさせるために、補聴器を装用していないときは、電池ぶたを開け電源を切ってください。あらかじめ設定された音量/プログラムに戻す際にも、電池ぶたを一旦開け閉めの操作をしてください。(クイックリセット)

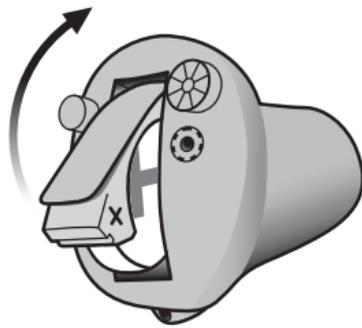
電源：オン

電池を入れて電池ぶたをしっかりと閉めると電源が入ります。



電源：オフ

下記図の通りにカチッと鳴るまで電池ぶたを開けると、電源が切れます。



注意：夜間または長期に渡って補聴器を装用しない際は、電池ぶたを完全に開けて電池消費を避け、筐体内の空気を循環させてください。

電池交換のタイミングについて

電池交換のタイミングになると、電池が完全に無くなるまで電池容量低下警告(3回)のビープ音が一定間隔で繰り返し鳴り続けます。

 事前警告音 3回*: ププッ
= 電池残量が少なくなっています

 電池交換警告音 4回: ピポパポ
= 電池残量が完全になくなった場合

補聴器と電池に関するヒント

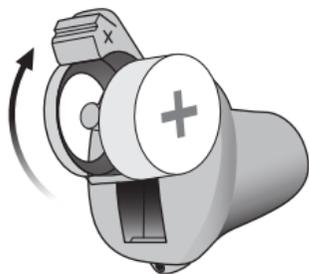
補聴器が必要なときにいつでも機能するように、外出時などには予備の電池を携帯いただくか、またはお出かけ前に電池を新しいものに交換してください。

* Bluetooth®通信機能を搭載している場合、Bluetooth接続が切れるためワイヤレスアクセサリーは使用できなくなります。

注意: 補聴器で音声または音楽をストリーミングする場合、電池をより頻繁に交換する必要があります。

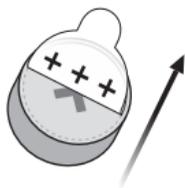
電池の交換

1. 古い電池を取り出す



電池ぶたを完全に開けてから、古い電池を取り出します。

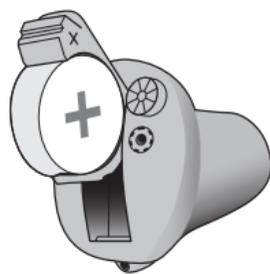
2. 新しい電池の保護シールをはがす



新しい電池の+（プラス）側に貼られている保護ステッカーをはがします。

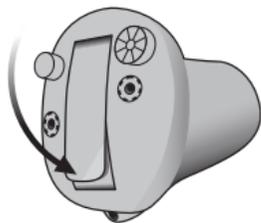
ヒント：2分ほどお待ちください。電池が吸気し、十分に反応させる必要があります。

3. 新しい電池を入れる



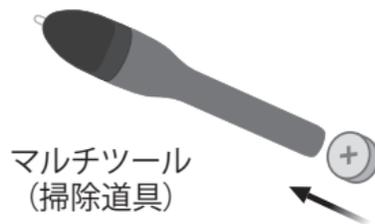
新しい電池をセットします。電池の+（プラス）側が上になっていることを確認してください。

4. 電池ぶたを閉める



電池ぶたをしっかり閉めると電源が入ります。電池ぶたを閉めるとイヤピースを通じてメロディ音が聞こえます。イヤピースを耳に近づけ、メロディ音を確認してください。

ヒント



マルチツールを電池交換時に活用いただくことができます。磁石のついた側を利用して、電池の出し入れを行うことができます。

マルチツールは補聴器販売店で購入いただくことが可能です。

補聴器の装着のしかた

ステップ1



補聴器の上部の丸いマーク（P.15参照）が上になるように親指と人差し指で補聴器本体をつまんで持ってください。そして、そのまま補聴器を耳の穴（外耳道）に入れてください。

ステップ2



耳をもう一方の手で軽く後ろに引っ張り、耳のカーブに沿うように、少しねじりながらゆっくりと耳の中に入れます。

補聴器の取り出し方

耳の後ろ側を下から少し押して、少し補聴器を浮かせます。次いで補聴器の取り出し用テグスを持ってください。耳の穴(外耳道)からゆっくりと取り出しテグスを引いて補聴器を抜いてください。

取りはずしにくいときは補聴器の装着と同様に、耳をもう一方の手で軽く引きながら抜くとより楽に抜くことができます。

注意

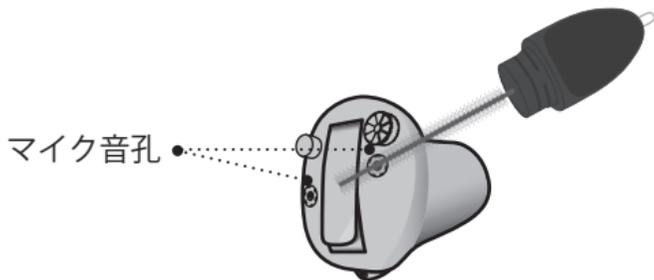
電池ぶたを使用して補聴器の装着を行ったり取り出しを行ったりしないでください。電池ぶたが壊れる原因になることがあります。

補聴器の毎日のお手入れ

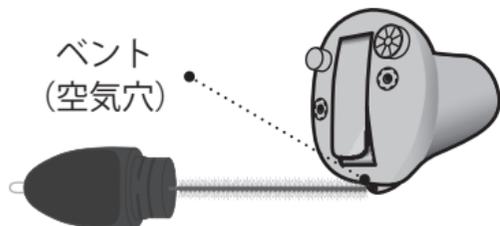
補聴器を取り扱う際には、落として壊してしまわないように椅子に座るなどして、表面のやわらかいものの上で行ってください。

マイク音孔のお手入れ

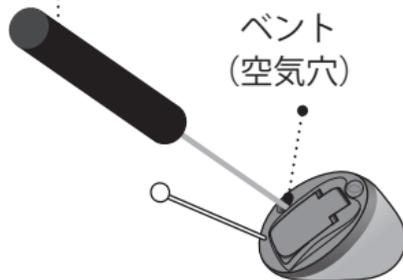
マイク音孔がゴミや汚れなどでつまっていないことを確認してください。掃除道具(マルチツール)のブラシを使用し、これらの汚れをそっと取り除いてください。ブラシは表面の掃除だけに利用し、奥まで差し込まないように気を付けてください。



ベント(空気穴)が開いている場合は、下図の通り、ブラシを穴にねじりながら差し込んで汚れを取り除いてください。



- ベント(空気穴)が非常に小さい場合には特殊なツールが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。



重要なお知らせ

補聴器のお手入れには、付属の布または、やわらかく乾いた布をご使用ください。補聴器本体を絶対に水や液体で洗ったり、浸したりしないでください。

耳垢防止フィルターの交換

耳垢防止フィルターは補聴器を耳垢やゴミによるダメージから守ります。フィルターがつまっているときは、耳垢防止フィルターを交換してください。または、聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

- プロワックスミニフィットフィルターは、音が出るスピーカーを保護します。
- OキャップとTキャップは、音が入るマイクを保護します。

耳垢防止フィルターの交換を行う際には、次ページを参考に正しく交換を行ってください。

重要なお知らせ

必ず補聴器の購入の際に製品に指定された耳垢防止フィルターをご使用ください。耳垢防止フィルターの種類や交換方法などについてご不明の際は、聴覚ケア専門家にご相談ください。

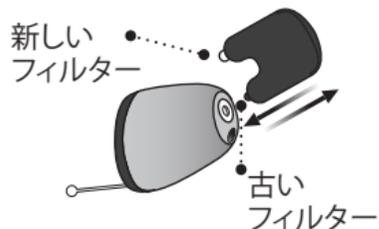
ミニフィットプロワックス耳垢防止フィルターの交換方法

1. ツール



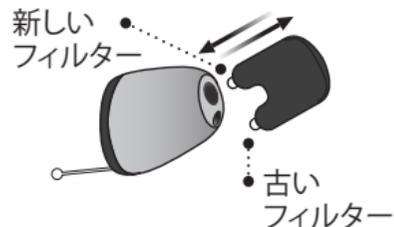
ケースからツールをひとつ取り出します。何もついていない側は古いフィルターの取り外しに使用します。もう片側には交換用の新しいフィルターがついています。

2. 古いフィルターの取り外し



何もついていない方の先端を補聴器に装着されている古い耳垢防止フィルターへ差し込んでください。そのまま古いフィルターを引き抜きます。

3. 新しいフィルターの装着



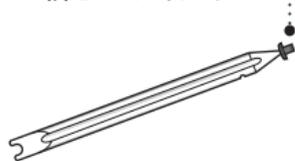
新しいフィルターを音の出口に差し込んでください。しっかりと差し込んだら、フィルターを残しツールをそのまま引き抜きます。使い終わったツールは捨ててください。

マイク保護 Tキャップの交換方法

(10A電池タイプ補聴器)

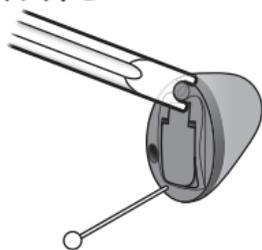
1. ツール

新しいフィルター



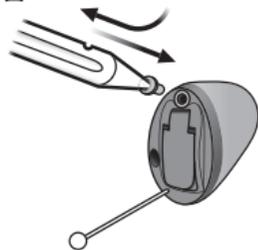
ケースから棒をひとつ取り出してください。棒には(A)と(B)の二つの先端があります。(B)の先端には交換用の新しいTキャップがついています。

2. 古いTキャップの取り外し



何もついていない先端(A)を補聴器についている古いTキャップに差し込み、そのままTキャップを引き抜きます。

3. 新しいTキャップの装着



先端(B)の先についている新しいTキャップをマイクの穴にしっかり差し込みます。しっかり差し込んだら、フィルターを残して棒を引き抜きます。使用済みの棒は捨ててください。

マイク保護 O キャップの交換方法

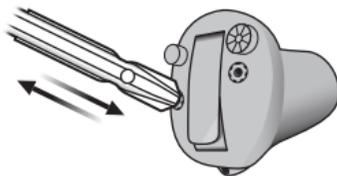
(312電池 タイプ補聴器)

1. ツール



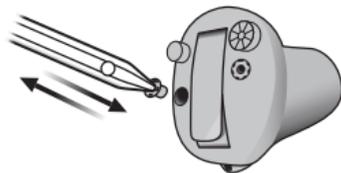
ケースから棒をひとつ取り出してください。棒には(A)と(B)の二つの先端があります。(B)の先端には交換用の新しいOキャップがついています。

2. 古いOキャップの取り外し



何もついていない先端(A)を補聴器についている古いOキャップに差し込み、そのままOキャップを引き抜きます。

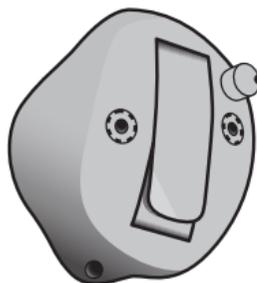
3. 新しいOキャップの装着



先端(B)の先についている新しいOキャップをマイクの穴にしっかり差し込みます。しっかり差し込んだら、フィルターを残して棒を引き抜きます。使用済みの棒は捨ててください。

プログラムの切り替え (オプション)

お買い上げの補聴器は 4 つまでのプログラムを設定できます。(IICを除く)
プログラムの設定は聴覚ケア専門家が行います。



プッシュボタンを押してプログラムを切り替えます。プッシュボタンでのプログラム切り替えのみの設定を行った場合、プッシュボタンを軽く短く押すとプログラムが切り替わります。音量調節の設定を行った場合は、長押しします。

両耳操作が可能な補聴器を左右の耳でお使いの場合は、(左右どちらかのプッシュボタンを押すことで、クリック音が鳴り、両方の補聴器を同時に操作することができます。)プログラムの切り替え時、右の補聴器は昇順(プログラム1→プログラム2)で進み、左の補聴器は降順(プログラム4→プログラム3)の順に戻ります。

左右の補聴器を独立して操作する場合は、プログラム切り替え時には、左右の補聴器をそれぞれ操作する必要があります。

お客様の補聴器のプログラム設定について
この欄は聴覚ケア専門家に記入を依頼してください。

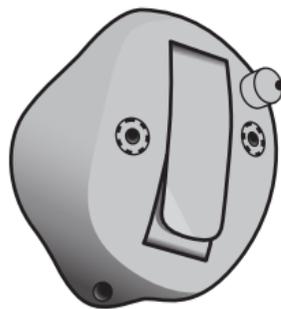
プログラム	プログラム機能時には それぞれ下記のビープ 音が聞こえます	使用する場面
1	 “ビープ音 1回”	
2	 “ビープ音 2回”	
3	 “ビープ音 3回”	
4	 “ビープ音 4回”	

プログラム切り替え：

<input type="checkbox"/> 左右単独操作	<input type="checkbox"/> 左右両耳操作
<input type="checkbox"/> 左の補聴器	<input type="checkbox"/> 右の補聴器
<input type="checkbox"/> 短く押す	<input type="checkbox"/> 長押し

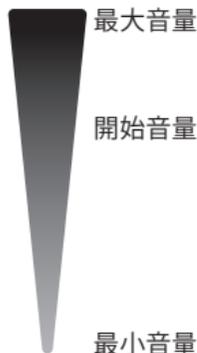
プッシュボタンを使用しての音量調節

補聴器の電源を入れるとボリュームは適正な音量で起動します。プッシュボタンの操作で、ボリュームを変更することができます。ボリュームの調節時にはクリック音が聞こえます。



ボリュームを上げるには、右の補聴器のスイッチを短く押してください。

ボリュームを下げるには、左の補聴器のスイッチを短く押してください。



補聴器の電源を入れる度に開始音量で作動を開始します。

音量調節（上げる/下げる）を行って開始音量に戻るとピピッと2回音が鳴ってお知らせします。

この欄は補聴器専門スタッフに記入を依頼してください。

音量調節

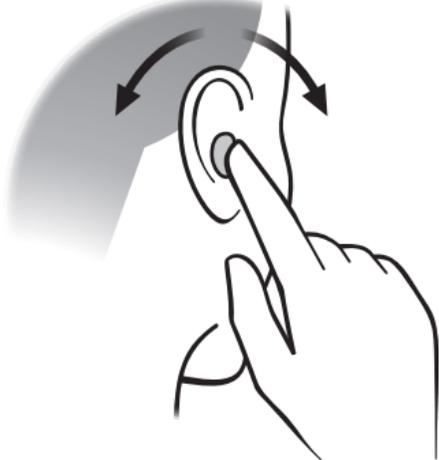
左の補聴器

右の補聴器

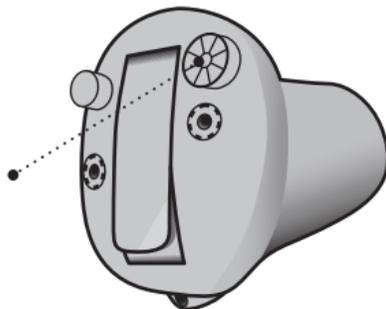
ボリュームコントロールを利用しての音量調整(オプション)

補聴器に下図のようなボリュームコントロール(音量調節)がついている場合は、つまみを利用して音量調節が出来ます。ボリュームコントロールのつまみを動かすとクリック音が鳴り、音量の変化を伝えます。

下がる 上がる

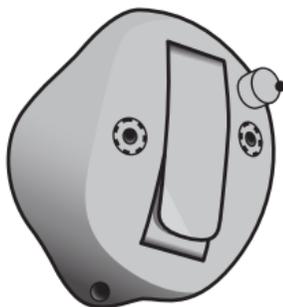


ボリュームコントロールのつまみは、指先で回すことができます。どちらの方向へもまわすことが出来ますが、音量は設定された範囲で可変します。



消音（ミュート）

補聴器を使用した状態で、音が出ないように設定したい時に、このスタンバイ機能を使用してください。



- ボリューム/プログラムスイッチを3秒以上長押しすると、補聴器はスタンバイモード（消音）になり、音が出なくなります。

再び、補聴器を作動させるには、スイッチを短く押ししてください。

注意：消音（ミュート）時は、補聴器のマイクのみが消音になります。

注意

スタンバイモードを電源スイッチとして使用しないでください。
スタンバイモードでは、音が出なくても電池は消耗されます。

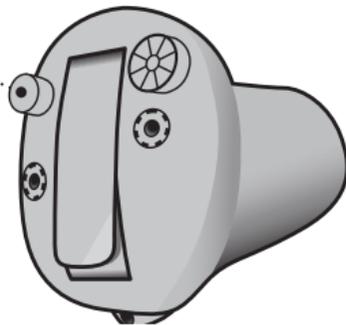
機内モード

(Bluetooth通信機能とプッシュボタンが搭載されている場合のみ)

飛行機搭乗中など無線信号の発生が禁止されている場所に入る場合は、機内モードにしなければなりません。その場合も補聴器は機能します。片方の補聴器を機内モードにすると両方の補聴器のBluetoothがオフになります。プッシュボタンが搭載されていない場合、補聴器の電源をオフにしなくてはなりません。

機内モードの有効・無効を切り替えるにはプッシュボタンを7秒以上押します。確認の音が1回鳴ります。

電池ぶたの開閉により機内モードを解除することもできます。



iPhone, iPad, iPod touchとつなげて使用する

お買い上げの補聴器はMade for iPhone®であり、iPhone、iPad® または iPod touch®にワイヤレス通信で接続します。

補聴器とアップル社製品とのペアリングのサポートに関しましては、聴覚ケア専門家にお問い合わせいただくか、当社ウェブサイトをご参照ください：

www.oticon.co.jp/connectivity

補聴器とiPhoneとのペアリング方法については、下記ウェブサイトを参照ください：

www.oticon.co.jp/pairing/

互換性についての情報は下記を参照ください：

www.oticon.co.jp/compatibility

“Made for Apple”バッジとは、電子アクセサリーがApple社製品への接続専用に設計された製品でありApple社の性能基準に適合していることをデベロッパが認定済みです。Apple社はこの補聴器の動作及び安全性、規制基準の適合に関する責任はありません。iPod、iPhone、またはiPadと当該アクセサリーを使用すると、ワイヤレス性能に影響が生じることにご注意ください。

Android機器に接続して使用するとき

本製品はAudio Streaming for Hearing Aids (ASHA)をサポートしており、お使いのAndroid™ 機器*と直接通信し、Android™ 機器によって操作することができます。

補聴器とAndroid機器との使用に関しましては、聴覚ケア専門家にお問い合わせいただくか下記をご参照ください：

www.oticon.co.jp/connectivity

補聴器とAndroid機器とのペアリング方法については、下記ウェブサイトを参照ください：

www.oticon.co.jp/pairing/

互換性についての情報は下記を参照ください：

www.oticon.co.jp/compatibility

外部機器とのワイヤレス接続

お買い上げの補聴器には、ワイヤレス機能が搭載されており、ワイヤレスでさまざまな外部機器と接続することができます。日常生活の多くの場面でよりよい聞き取りやコミュニケーションをサポートします。

コネクタクリップ

携帯電話とペアリングして、補聴器をハンズフリーヘッドセットとして使用できます。リモートマイクとしても使用することができます。

TVアダプター3.0

テレビアダプターはテレビやその他オーディオ機器の音声を補聴器に直接届けます。

リモートコントロール3.0

補聴器のプログラム切り替えと音量調節、消音を行うことができます。

Oticon ONアプリ

補聴器を携帯電話やタブレットから操作できるアプリケーションです。iPhone、iPad、iPod touch、Android端末に対応しています。このアプリは公式アプリストアからのみダウンロードするようにしてください。

電話アダプター2.0

補聴器とコネクタクリップ、共に使用し、固定電話での通話をハンズフリーにします

詳細な情報はこちらを参照ください：www.oticon.co.jp/connectivity

Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは、米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
App StoreはApple Inc.のサービスマークです。Android、Google Play、Google PlayのロゴはGoogle LLC.の商標です。

その他オプション機能

テレコイル

テレコイル対応電話や、ループシステムを採用した建物(映画館、講堂など)で聞き取りをサポートします。上記マーク又は類似のマークのある場所ではテレコイルが採用されています。



詳細な情報は聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

オプション機能およびアクセサリー

以下に記載されている機能およびアクセサリーはオプションです。お使いの補聴器がどのようにプログラムされているかは、聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

聞き取りにくい状況を経験した場合、特別なプログラムが役に立つことがあります。これらは聴覚ケア専門家がプログラムします。

サポートが必要と思われる聴こえの状況を書き留めておいてください。

耳鳴りサウンドサポート（オプション）

耳鳴りサウンドサポートの使用目的

耳鳴りサウンドサポートは、耳鳴り対処・治療の一環として耳鳴りに悩む方を対象に一時的な耳鳴り緩和のための音を発生させる機能です。

使用の対象者：18歳以上の成人

耳鳴りサウンドサポートは、難聴および耳鳴りの評価と対処方法に精通している耳鼻咽喉科医、並びにこれら医師の指導の下での聴覚ケアの専門家による調整を意図しています。耳鳴りサウンドサポートのフィッティングは、耳鳴り治療や対処に関わる補聴器専門スタッフによって行われなければなりません。

耳鳴りサウンドサポート対応スタイル

プッシュボタンを搭載したCIC、カナル(ITC)、ハーフ、フルのいずれかのスタイルの補聴器が対応します。お使いの補聴器のスタイルをご確認ください。

耳鳴りサウンドジェネレーター使用者のためのガイドライン

以下には耳鳴りサウンドサポートの使用法に関する情報を記載しています。医師の指導の下、耳鳴りサウンドサポートが有効になっている場合にご参照ください。

耳鳴りサウンドサポートは、耳鳴り治療・対処療法のための機能です。耳の中で鳴る「キーン」という音や頭の中で鳴るノイズなどから意識をそらして緩和を助ける周波数帯域や音量で音を発生させます。

専門医は、適切なフォローアップケアの提案を行うことができます。医師の助言や治療方針に従うことが重要です。

耳鼻咽喉科医による検査受診に基づく処方による使用のみ

耳鳴りの症状がある方はサウンドジェネレーターの使用を検討する前に耳鼻咽喉科医による検査受診が必要です。そのような検査受診の目的とは、耳鳴りを引き起こしている症状のうち治療可能な状態であるかどうかを確認し、治療可能なものについてはサウンドジェネレーターを使用する前に、適切な治療を行うためです。

サウンドオプションおよび音量調節

耳鳴りサウンドサポートは、聴覚ケアの専門家によってお客様の聴力および耳鳴り緩和のための音の好みに合わせてプログラムされます。耳鳴りサウンドサポートは、複数のサウンドを提供します。専門家や補聴器専門スタッフとともにお客様の聞こえの好みに合うサウンドを選択します。

耳鳴りサウンドサポートプログラム

聴覚ケア専門家とともに、どのプログラムで耳鳴りサウンドサポートを有効にするかを選択します。サウンドジェネレーター機能は最大4つまで、プログラムへの設定が可能です。

消音

耳鳴りサウンドサポートが有効になっているプログラムを使用している場合、消音機能は環境音のみを消音し、耳鳴りサウンドサポートの音は消音しません。補聴器を消音する方法については、**消音**の項を参照してください。

耳鳴りサウンドサポートの音量調整

耳鳴りサウンドサポートのプログラムを選択すると、補聴器のプッシュボタンによる音量調節は無効となり、耳鳴りサウンドサポートの音量変更のみが可能になります。

耳鳴りサウンドサポートの音量調整の設定方法は次の2つです:

A) 片耳ずつ音量を変更する。

B) 両耳同時に音量を変更する。

これら2つの設定は、専門家が行います。

耳鳴りサウンドサポートの音量をプッシュボタンで変更する

「プッシュボタンを使用しての音量調節」の図を参照ください。

A) 耳鳴りサウンドサポートの音量を片耳ずつ調節する方法

片方の補聴器のボリュームを**上げる**には、好みの音量になるまで繰り返しスイッチを短く押してください。2回のビーブ音が聞こえるまで、ボタンを押す度にボリュームが大きくなります。2回のビーブ音の後、ボタンを押すとボリュームが下がります。

片方の補聴器のボリュームを**下げる**には、好みの音量になるまで繰り返しスイッチを短く押してください。

B) 耳鳴りサウンドサポートの音量を両耳同時に調節する方法

片方の補聴器を操作することで左右の補聴器の音量を同時に変更することができます:

ボリュームを**上げる**には、右耳の補聴器のスイッチを繰り返し短く押してください。

ボリュームを**下げる**には、左耳の補聴器のスイッチを繰り返し短く押してください。

専門家記入欄

耳鳴りサウンドサポートの音量をボリュームコントロールで変更する

「ボリュームコントロールを使用しての音量調節」の図を参照ください。

A) 耳鳴りサウンドサポートの音量を片耳ずつ調節する方法

片方の補聴器のボリュームを上げるには、ボリュームコントロールを上げる(+)
方向に回してください。

片方の補聴器のボリュームを下げるには、ボリュームコントロールを下げる(-)
方向に回してください。

B) 耳鳴りサウンドサポートの音量を両耳同時に調節する方法

片方の補聴器を操作することで左右の補聴器の音量を同時に変更することが
できます。片方の補聴器のボリュームを変更すると、もう片方の補聴器が同調し
ます。

ボリュームを上げるには、ボリュームコントロールを上げる(+)
方向に回してください。

ボリュームを下げるには、ボリュームコントロールを下げる(-)
方向に回してください。

専門家記入欄

Bluetooth通信機能搭載の補聴器

Bluetooth通信機能搭載の補聴器をお使いの場合、耳鳴りサウンドサポートのプログラムにおける補聴器マイクからの環境音の調整が、リモートコントロール3.0またはコネクタクリップで実施できます。

iPhone、iPad、iPod touch、Android™スマートフォン用**Oticon ON**アプリを操作して、補聴器マイクからの環境音と耳鳴りサウンドサポートの両方を調節することができます。

使用時間の制限

日常の使用の注意点

耳鳴りサウンドサポートの音量は、長時間使用すると聴力低下を招く恐れのある、高出力音量までの設定が可能です。専門家による1日あたりの最大装用時間の指示に従ってください。不快な音量、また大きすぎる音量での使用は避けてください。

本書の「補聴器の設定」内の「耳鳴りサウンドサポート:補聴器設定ごとの使用上限」を参照し、安全に使用できる1日当たりの緩和音の上限時間をご確認ください。

耳鳴りサウンドサポートに関する重要な事項 (聴覚ケアの専門家の方へ)

耳鳴りサウンドサポートについて

耳鳴りサウンドサポートは、モジュール機能であり医師の指示の下、補聴器専門家によって機能の有効設定が可能です。

最大装用時間

耳鳴りサウンドサポートの装用時間は、音量を80 dB(A) SPL以上に設定すると短くなります。80dB(A) SPL以上に設定を行うと、フィッティングソフトウェア上に自動的に警告メッセージが表示されます。フィッティングウェア上の耳鳴り対処用フィッティンググラフ横に表示される最大装用時間インジケータをご参照ください。

初期設定では音量調節が無効

初期設定では、サウンドジェネレーターの音量調節は無効になっています。音量調節を有効にすると騒音曝露の危険性が高まります。

音量調節が有効の場合

「ボタンと通知音」画面で耳鳴り用音量調節を有効にすると警告が表示されません。これは、聴覚障害を招く可能性のある音量で緩和音を聞き得る場合に表示されます。

このフィッティングソフトウェア上の「最大装用時間」の表は、患者が耳鳴りサウンドサポートを安全に使用できる上限を示したものです。

- プログラムごとに耳鳴りサウンドサポートの最大装用時間を確認してください。
- それらの値を本取扱説明書の最後にある「耳鳴りサウンドサポート：使用上限」に記入してください。
- 適切に使用するようにユーザーにご説明ください。

⚠ 耳鳴りサウンドサポートに関する注意点

医師並びにその指示の下、補聴器専門家によって耳鳴りサウンドサポートが有効に設定されている場合には、下記にご注意ください。

いかなる耳鳴り緩和用装置でも、装置から発生するサウンドの使用にあたっては、耳鳴りの悪化および聴力の変化などの懸念が伴います。

聴力や耳鳴りの変化、めまい、吐き気、頭痛、動悸、または補聴器装用による皮膚のかゆみなどを感じたら、すぐに補聴器の使用を中断し、医師または補聴器専門スタッフへご相談ください。

他の電子機器と同様に、サウンドジェネレーターを誤って使用すると、危険性を伴う影響があります。適切な使用方法を守り、子どもおよびペットの手の届かないようにご注意ください。

最大装用時間

医師による指示に基づいて設定された耳鳴りサウンドサポートの一日当たりの最大装用時間を必ず守ってご使用ください。最大装用時間を超過した使用は耳鳴りの悪化および聴力の悪化に繋がる恐れがあります。

⚠ 注意事項

補聴器を正しくかつ安全にお使いいただくために、補聴器をお使いになる前に本取り扱い説明書の注意事項を正しくご理解いただいた上でご使用ください。

補聴器に関して予期しない動作や事象が発生した場合には、お買い上げの補聴器販売店へご相談ください。販売店は問題の対応のサポートを行い、必要に応じて関係当局に報告を行います。

補聴器は以前の聞こえに戻すものではなく、器質性疾患による聴力低下を防いだり治したりすることはできません。補聴器は聴覚利幅の一部であり、聴覚訓練や読唇術の指導で補う必要がある場合があります。又、補聴器のメリットを最大限ご体感頂くために、日常的に装着してください。

補聴器の使用について

聴覚ケア専門家によって調整された補聴器を指示通りにお使いください。間違った使用方法によって、聴力低下の原因になる場合があります

ご自身の補聴器は絶対に他の人に使用させないでください。間違った使用は聴覚器官を傷める原因となることがあります。

補聴器・電池の誤飲と窒息の危険性について

補聴器やその部品、電池は幼児やあやまってこれらを飲み込む危険性のある人の手の届かない場所へ置いてください。

薬を飲むときに、電池を特に錠剤と間違えることがありますので、十分ご注意ください。

補聴器やその部品を誤って飲み込んだ場合には、すぐに医療機関を受診してください。

注意事項

電池使用

電池は販売店推奨のものをお使いください。品質の悪い電池は補聴器の機能の低下や、液漏れによる故障や事故を引き起こすことがあります。

電池の充電を行わないでください。また電池を火中に投じないでください。破裂などによってけがの原因になる危険性があります。

機能停止の可能性

補聴器は警告音なしに機能を停止する可能性があります。警告音で動作状況を判断している場合には特に留意ください。

(例: 交通量のある道路沿いなど) 電池切れ、チューブなどへの水分の付着や耳垢などによって補聴器が機能を停止する可能性もあります。

体内埋め込み型（能動型）機器に関してお使いの補聴器は、人体への電磁力および電圧誘導の人体曝露に関する国際基準（比吸収率-SAR）に基づき人の健康に対して徹底的に試験・特性評価されています。

この曝露値は、人間の健康基準およびペースメーカーや心臓除細動器などの能動的な医療用インプラントとの共存で定義された、人体へのSAR、誘発電磁力および電圧誘導の国際的に許容される安全限界を大きく下回っています。

能動型脳インプラントをご使用の場合には、埋め込み型機器のメーカーに干渉の危険性に関してお問い合わせください。

埋め込み型機器をスマートフォン用磁石や内蔵磁石のあるお手入れ用ブラシを30cm(1フィート)以上近づけないでください。(例: 胸ポケットなどに入れて持ち歩かない等)

一般に、磁石を使用する場合は、埋込み型除細動器およびペースメーカーのメーカーが推奨するガイドラインに従ってください。

レントゲンやCTスキャン、MRIなどの検査や電気療法をする際の注意

レントゲンやCTスキャン、MRI、PETスキャンなどの検査、または電気療法や手術などの治療を行っている際には、補聴器が故障することがありますので、補聴器をはずしてください。

高温や薬品

補聴器を火に近づけたり炎天下の車内など高温の場所に長時間放置しないでください。

補聴器を電子レンジやオーブンなどに入れないでください。

注意事項

補聴器を装用したまま、化粧品、ヘアスプレー、香水、アフターシェーブ、虫除けスプレーなどを使用しないでください。使用する場合には補聴器を外してください。それらが完全に乾いてから補聴器を使用してください。

パワー型補聴器の取扱い

最大出力が132dB SPL (IEC60138-4/IEC711) を超える補聴器に関しては、大きな音が出ますので、取り扱いに十分にご注意ください。聴力に合わせた適切な器種の選択や調整が行われていないと、聴力低下を招く恐れがあります。

お使いの補聴器がパワー型の補聴器であるかどうかについては当該取り扱い説明書の最初のページを参照してください。

起こりうる副作用

補聴器、モールドやドームを使い始めると耳垢が出やすくなることがあります。

お買い上げの補聴器はアレルギー誘発性物質を排除していますが、まれに耳の中にかゆみを生じたりや通常とは異なる状態が発生する可能性もあります。

耳に何らかの異常を感じた場合は、医療機関を受診してください。

航空機内での使用

当該補聴器はBluetooth通信機能を搭載しているため、許可のない限り、機内では機内モードをオンにしなくてはなりません。

フライトモードを作動させるためには、補聴器にプッシュボタンがついている必要があります。そうでない場合は補聴器の電源を切らなければなりません。

お使いの補聴器がBluetooth通信機能を搭載しているかは、本書の「製品について」をご確認ください。

外部機器との接続について

本補聴器をUSBケーブルで外部機器と接続または直接接続した場合の安全性は、接続された外部の信号源によって決まります。本製品を電源コンセントに差し込む必要のある外部機器に接続する場合、その機器はIEC 62368-1または同等の安全規格に適合している必要があります。

非正規品との非互換性について

本製品メーカーより供給されたアクセサリ、トランスデューサー、ケーブルを使用ください。非正規品の使用は電磁ノイズに対する電気・電子機器の耐性(EMC)の低下につながる恐れがあります。

変更・修正の禁止

メーカーよって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するためのユーザーの権限を無効にする可能性があります。

干渉

▲ 当該補聴器は、最も厳しい国際基準に従って電磁波干渉について徹底的に品質検査が行われています。

上記記号のある装置の近くでは、電磁干渉が発生する場合があります。ポータブルおよびモバイルRF(無線周波数)通信機器は、補聴器の性能に影響を与える可能性があります。補聴器が電磁干渉の影響を受ける場合、干渉を減らすために干渉原因から遠ざけてください。

トラブルシューティング/故障と思われるときの対処法

このような場合	原因
音が出ない	電池が古くなっている
	音の出口が詰まっている
	マイクの穴が詰まっている
	消音(ミュート)になっている
プツプツ音がする、音が弱い	音の出口が詰まっている
	湿気
	電池が古くなっている
ピーピー音がする	補聴器がきちんと耳に入っていない
	耳の中に耳垢が詰まっている
Apple社機とのペアリングの問題について	Bluetoothの接続が失敗した
	片方の補聴器のみペアリングがされている

対策

新しい電池に取り替える

音の出口*を掃除するか、プロワックスを交換する

マイクの穴*を掃除するか、フィルターを交換する (Tキャップ/Oキャップ)

消音(ミュート)を解除する

音の出口を掃除するか、プロワックスを交換する

電池と補聴器を柔らかい布で拭く

新しい電池に取り替える

補聴器を入れ直す

耳鼻科医に診てもらう

- 1) 補聴器とのペアリングを解除
- 2) ブルートゥース設定をいったんオフにして再度オンにする
- 3) 補聴器を一旦オフにした後再起動する
- 4) 補聴器と再ペアリングを行う (www.oticon.co.jp/pairing/を参照ください)

以上で解決しない場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。

*本書のガイドラインに準じます

より良い聞こえのための7つの簡単なステップ

補聴器を装用し始めて数日から数週間は、特に補聴器を初めて使用される方は、耳慣れない音が聞こえてきます。下記のステップで、新しい音や長い間聞いていなかった音に慣れていくことができます。

①家の静かな所での練習

家などの静かな所で補聴器をつけ、新たに聞こえてくるいろいろな音に慣れましょう。新しく聞こえる音が何の音なのかを一つ一つ確かめてみましょう。今まで聞こえていた音も補聴器で聞くと感じが違って聞こえることがあります。徐々に周囲の音に慣れていきます。

補聴器を使っていて疲れを感じる時は、少し休んでください。徐々に補聴器の音に慣れるのに従い長時間装用することができるようになり、一日中快適に装用できるようになります。

② 一対一の会話

まず、静かな部屋で、顔の表情を読み取りやすいように、向かい合って座ってください。最初は少し大きく騒がしく感じるくらいの、いつもとは違った新しい会話の音が聞こえてきます。けれども、脳がその新しい音声に適応していくにつれて、人の声が以前よりも鮮明に聞こえるようになります。

③ ラジオやテレビを聴きましょう

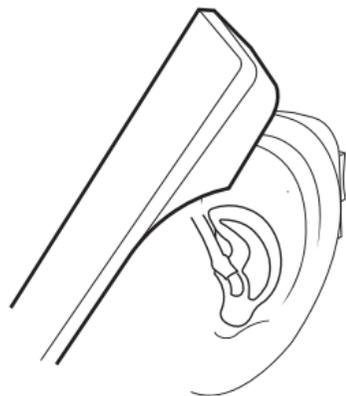
始めは言葉が聞き取りやすいニュース番組を聞いてください。そして、他の番組をお試しください。

④ 数人での会話

レストランなどで数人で会話をしているときなどは、ふつう周囲の雑音が大きく聞き取りが難しくなります。話している人に注意を集中してみてください。その人の話が分かりますか。周りに雑音がある場合には、なかなか聞き取りが難しいと思いますが、そのような時は遠慮なく聞き返してください。

⑤ 電話で話す

補聴器を装着したまま電話をかける時には、受話器の上側のふちを頬骨に沿って軽くあてるようにして持ち、電話の受話器からの音が補聴器のマイクに直接入るようにします。こうすると、ピーピー音がならず、会話を聞くことができます。この持ち方をしたときには、電話の相手に良く聞こえるように受話器のマイクに直接話しかけるようにしてください。



⑥ 携帯電話など

お買い上げの補聴器は、国際EMC（電磁両立性）規格に適合しています。しかしながら、携帯電話の種類やメーカーによっては、補聴器にノイズが入るかもしれませんが、故障ではありません。

⑦ 補聴器を常時装用するように心がける

より良い聞こえを実現するためのベストな方法は、一日中補聴器を使用することができるまで、補聴器をつけて聞く練習をすることです。補聴器はその音に慣れていただくことによって、より効果が発揮できます。

補聴器を装用することによって以前の聞こえが戻るわけではありません。また、補聴器は難聴を予防したり、治すことはできません。しかし、お客様の聞こえの力をサポートすることができます。両耳に補聴器をご購入の場合は、2つとも装用してください。

装用中に違和感を感じた場合には販売店へご相談ください。

防塵・防水対応について (IP68)

お買い上げいただきました補聴器は日常防水対応の補聴器です。同補聴器は防水・防塵の指標となる国際規格を取得しておりますが、完全防水ではありません。

補聴器が水に濡れたり、過度の湿気にさらされるなどして動作しなくなった場合は、次の手順に従ってください：

1. 補聴器の外側についた水分をそっとふき取ってください。
2. 電池ふたを開け、電池を取り除き電池室内部の水分を慎重にふき取ってください。
3. 補聴器の電池ふたを開けたまま、補聴器を30分以上乾かしてください。
4. 新しい電池を入れてください。

重要なお知らせ

入浴時には補聴器を外してください。水泳、シュノーケリング、ダイビングなどのスポーツを行う際には補聴器を外してください。補聴器を水やその他の液体に浸すことはおやめください。

動作環境について

動作環境条件	温度: +1℃ ~ +40℃ (34°F ~ 104°F) 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ~ 1060 hPa
保管条件および 輸送条件	保管および輸送の際、以下の範囲を超えないこと: 温度: -25℃ ~ +60℃ (-13°F ~ 140°F) 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ~ 1060 hPa

保証とアフターサービス

保証書について

この取り扱い説明書には保証書に関する記載が記されています。製品保証書は必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。

国際保証について

日本国外でも保証条件を満たしたものは、無料修理が可能です。修理に際しましては、国際保証カードの提示が必要になります。国際保証カードが必要な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

故障などの場合

この補聴器の補修用部品の保有期間は製造中止後5年間となります。補修用部品はこの補聴器の機能を維持するために必要な部品です。補聴器の故障、また不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店へお持ちください。

修理を依頼される時

修理を依頼される前に本取扱説明書の58ページに従ってご確認いただき、なお異常がある場合には、使用を中止しお買い上げの販売店へご依頼ください。

○保証期間中は

お買い上げの販売店まで保証書をそえて補聴器をご持参ください。

○保証期間を過ぎている場合は

お買い上げの販売店に御相談ください。修理によって補聴器の性能が維持できる場合には、ご希望に応じて有料修理を承ります。

修理・お手入れ・お取り扱いに関するご相談は、まずお買い求めの販売店へ
ご相談ください。

オーティコン補聴器

コンタクトセンターのご案内

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地ソリッドスクエア西館16階

電話:044-543-0615 FAX:044-543-0616

受付時間 平日9:30~17:30 (土日祝日を除く)

e-mail: info@oticon.co.jp

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がございます。

国内保証

取扱説明書の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障が生じた場合には、お買い上げ補聴器の無料修理を保証いたします。

1. 無料修理をご依頼になる場合には補聴器保証書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居などの事情によりお買い上げの販売店に無料修理をご依頼にできない場合には、お買い上げ販売店または弊社カスタマーサービスまでご相談ください。
3. 当該保証期間を経過した補聴器の修理は有料となります。
4. 無償保証期間内でも、下記の場合には有料となります。
 - A) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - B) お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - C) 補聴器保証書の提示のない修理。
 - D) 地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障または損傷の修理。(お買い上げ保険が指定する補償条件を除く)
5. 修理後3カ月以内に生じた同一箇所の故障は無料にて修理いたします。
6. オーダーメイドのシェル交換につきましては、当社が販売店に別途定める条件に基づくものと、本保証書の適用は例外となります。
7. 補聴器保証書は日本国内においてのみ有効です。日本国外での保証に関しましては国際保証についての記載をご参照ください。
8. 補聴器保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

お買上保険特約

お買い上げいただいた補聴器が火災・盗難にあった場合、お買い上げ日より1年間無料修理・または同一器種または弊社が規定する器種再交付の補償をいたします。また同一器種または弊社規定の補聴器の再交付に際しては、保証書の付与はありません。

補償内容

火災：無償修理または同一器種または弊社が規定する器種の再交付

盗難：同一器種または弊社が規定する補聴器の再交付

補償の対象とならないもの

○地震・噴火・水害、落雷、その他天災地変による損害・故意・過失・置き忘れ紛失等による損害、電氣的・機械的的事故による損害

お買上保険特約請求に必要な書類

- 補聴器保証書
- 火災の場合：消防署発行の罹災証明書
- 盗難の場合：警察署に提出された盗難届の写し

国際保証

日本国外における保証（制限付き保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、電池や耳垢防止フィルターといったアクセサリーパーツを除く機器本体となります。国際保証カードに「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。国際保証カードが必要な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。当該規定は弊社の国際保証規定により修理をお約束するものであり、法律上のおお客様の権益を制限するものではありません。

お客様の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理、耳の状態変化、異物の混入による損傷に対しては、保証期間内であっても保証適用外となり修理をお断りする場合がございます。販売店によってはこの制限付き保証書の条項を越えた保証を提供する場合があります。詳しくは販売店までお問い合わせください。

日本国外において調整サービスを必要とする場合

補聴器販売店また補聴器販売に関わる専門家のもとに、補聴器をお持ちください。補聴器の軽微な修理サービスや調整をその場で受けることが可能です。一部に国際保証サービスをご提供できない拠点があります。サービス提供の有無については販売店までお問い合わせください。

性能一覧表

Own1 IIC , Own2 IIC , Own3 IIC , Own4 IIC , Own5 IIC (イヤホン75)

●特性

電池形式、電圧	空気電池PR536(10A)1.4V	等価入力雑音レベル	19dB+3dB 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	電 池 電 流	1.7mA 以下 (Own1) 1.6mA 以下 (Own2/3/4/5)
90dB 最大出力 音 圧 レベル	レスポンス図 高周波数平均値：103dB±4dB SPL ピーク値：108dB+3dB SPL 以下		全 高 調 波 歪
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値：39dB±5dB (Own1) 40dB±5dB (Own2/3/4/5) ピーク値 : 42dB+3dB 以下 (Own1) 43dB+3dB 以下 (Own2/3/4/5)	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム：5ms±5ms リリースタイム：29ms±50%
	規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅：下限<200Hz , 上限>5000Hz 規 準 利 得 : 27dB	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)
		試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	—

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

Own1 IIC, Own2 IIC, Own3 IIC, Own4 IIC, Own5 IIC (イヤホン90)

●特性

電池形式、電圧	空気電池PR536(10A)1.4V	電池電流	2.3mA以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全高調波歪	500Hz : 2%未満+3%以下 800Hz : 2%未満+3%以下 1600Hz : 2%未満+3%以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 116dB±4dBSPL ピーク値: 119dB+3dBSPL以下		自動利得調整器 (AGC)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値: 49dB±5dB ピーク値 : 50dB+3dB以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	—
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅: 下限<200Hz, 上限>5000Hz 規 準 利 得 : 39dB	試験用ループに対する 等価感度(ETLS)	—
等価入力雑音レベル	19dB+3dB以下		

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

Own1 CIC, Own2 CIC, Own3 CIC, Own4 CIC, Own5 CIC (イヤホン75)

●特性

電池形式、電圧	空気電池PR536(10A)1.4V	等価入力雑音レベル	19dB+3dB 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	電 池 電 流	1.6mA 以下
90dB最大出力 音 圧 レベル	レスポンス図 高周波数平均値：104dB±4dBSPL ピーク値：108dB+3dBSPL 以下 (Own1) 109dB+3dBSPL 以下 (Own2/3/4/5)	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満+3% 以下 800Hz : 2%未満+3% 以下 1600Hz : 2%未満+3% 以下
		自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム：5ms±5ms リリースタイム：31ms±50%
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値：43dB±5dB ピーク値 : 47dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	—
規 準 周 波 数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅：下限<200Hz, 上限>5000Hz 規 準 利 得 : 27dB	試験用ループに対する 等価感度(ETLS)	—

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

Own1 CIC , Own2 CIC , Own3 CIC , Own4 CIC , Own5 CIC (イヤホン90)

●特性

電池形式、電圧	空気電池PR536(10A)1.4V	電池電流	2.0mA以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全高調波歪	500Hz : 2%未満+3%以下 800Hz : 2%未満+3%以下 1600Hz : 2%未満+3%以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値 : 116dB±4dBSPL ピーク値 : 119dB+3dBSPL以下		
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値 : 52dB±5dB ピーク値 : 56dB+3dB以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム : 5ms±5ms リリースタイム : 32ms±50%
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅 : 下限<200Hz , 上限>5000Hz 規 準 利 得 : 41dB(Own1) 40dB(Own2/3/4/5)	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	—
等価入力雑音レベル	18dB+3dB以下(Own1) 19dB+3dB以下(Own2/3/4/5)	試験用ループに対する 等価感度(ETLS)	—

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

Own1 ITC / HS / FS , Own2 ITC / HS / FS , Own3 ITC / HS / FS , Own4 ITC / HS / FS ,
Own5 ITC / HS / FS (イヤホン75)

●特性

電池形式、電圧	空気電池 PR41(312)1.4V	全高調波歪	500Hz : 2%未満 +3% 以下 800Hz : 2%未満 +3% 以下 1600Hz : 2%未満 +3% 以下
規 準 周 波 数	1600Hz		
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値 : 103dB±4dBSPL ピーク値 : 109dB+3dBSPL以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム : 5ms±5ms リリースタイム : 34ms±50% (Own1) 33ms±50% (Own2/3/4/5)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均 : 40dB±5dB ピーク値 : 46dB+3dB 以下		
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅 : 下限 <200Hz, 上限 >5000Hz 規 準 利 得 : 26dB	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	71dB+6dB
等価入力雑音レベル	17dB+3dB 以下	試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	1dB+4dB
電 池 電 流	2.0mA 以下		

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

Own1 ITC / HS / FS , Own2 ITC / HS / FS , Own3 ITC / HS / FS , Own4 ITC / HS / FS ,
Own5 ITC / HS / FS (イヤホン90)

●特性

電池形式、電圧	空気電池 PR41(312)1.4V	全高調波歪	500Hz : 2%未満+3%以下 800Hz : 2%未満+3%以下 1600Hz : 2%未満+3%以下
規 準 周 波 数	1600Hz		
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 116dB±4dBSPL ピーク値: 119dB+3dBSPL以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム: 4ms±5ms (Own1) 5ms±5ms (Own2/3/4/5) リリースタイム: 30ms±50%
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均: 51dB±5dB ピーク値 : 54dB+3dB以下		
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅: 下限<200Hz, 上限>5000Hz 規 準 利 得 : 39dB	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	82dB+6dB
等価入力雑音レベル	15dB+3dB以下	試験用ループに対する 等価感度(ETLS)	1dB+4dB
電 池 電 流	2.4mA以下		

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

Own1 ITC / HS / FS , Own2 ITC / HS / FS , Own3 ITC / HS / FS , Own4 ITC / HS / FS ,
Own5 ITC / HS / FS (イヤホン100)

●特性

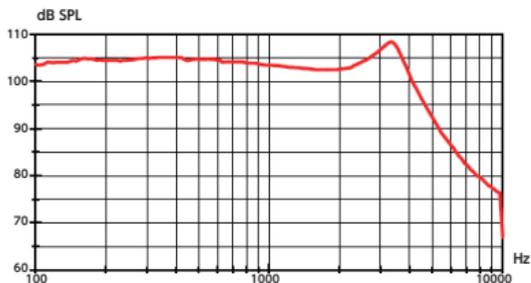
電池形式、電圧	空気電池 PR41(312)1.4V	全高調波歪	500Hz : 2%未満+3%以下 800Hz : 2%未満+3%以下 1600Hz : 2%未満+3%以下
規 準 周 波 数	1600Hz		
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 123dB±4dBSPL ピーク値: 126dB+3dBSPL以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム: 8ms±5ms (Own1) 7ms±5ms (Own2/3/4/5) リリースタイム: 21ms±50%
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値: 60dB±5dB ピーク値 : 64dB+3dB以下		
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅: 下限<200Hz, 上限>5000Hz 規 準 利 得 : 46dB	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	90dB+6dB
等価入力雑音レベル	15dB+3dB以下	試験用ループに対する 等価感度(ETLS)	1dB+4dB
電 池 電 流	2.1mA以下		

2CC カブラーを使用して測定表示してあります。

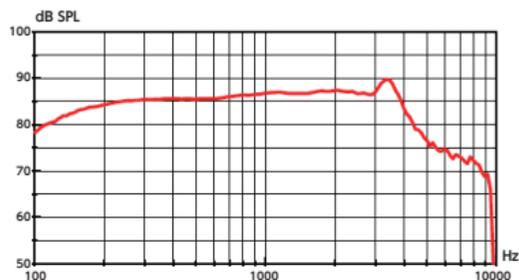
特性表

Own1 IIC (イヤホン75)

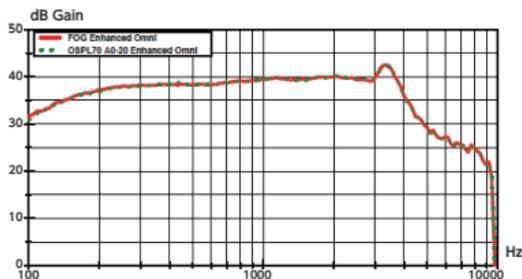
●90dB最大出力音圧レベル



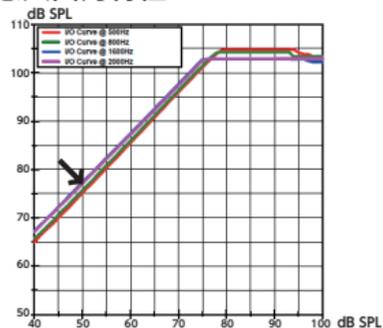
●周波数特性



●最大音響利得



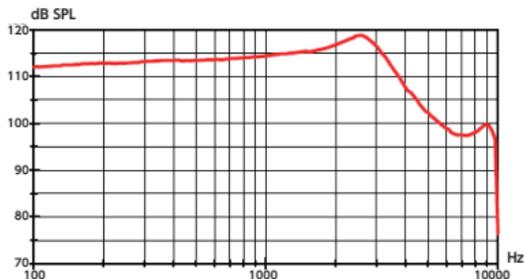
●定常状態入出力特性



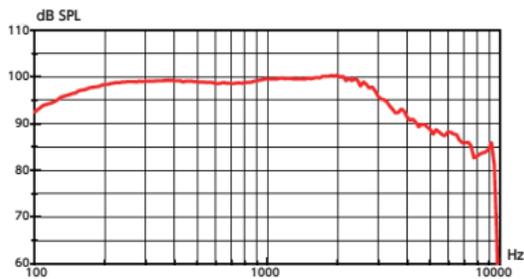
特性表

Own1 IIC (イヤホン90)

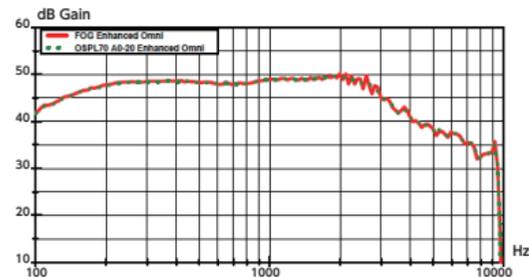
●90dB最大出力音圧レベル



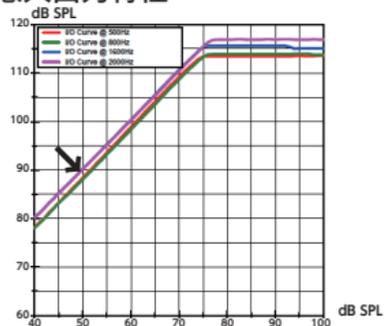
●周波数特性



●最大音響利得



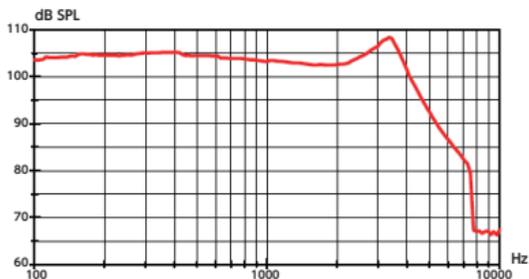
●定常状態入出力特性



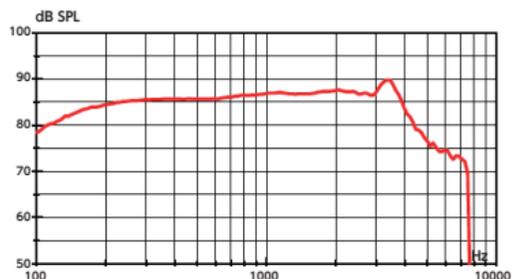
特性表

Own2 IIC , Own3 IIC , Own4 IIC , Own5 IIC (イヤホン75)

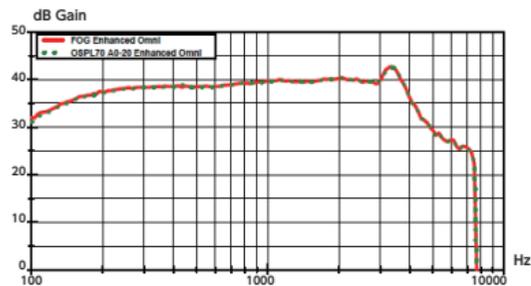
●90dB最大出力音圧レベル



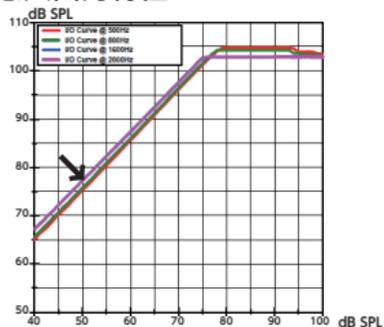
●周波数特性



●最大音響利得



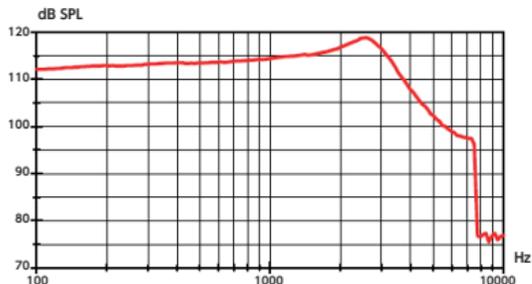
●定常状態入出力特性



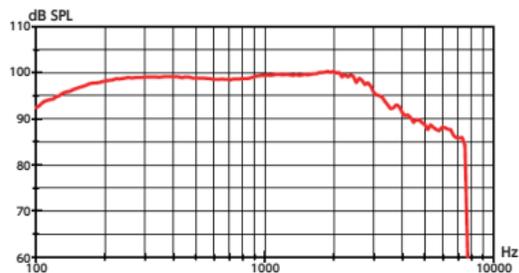
特性表

Own2 IIC , Own3 IIC , Own4 IIC , Own5 IIC (イヤホン90)

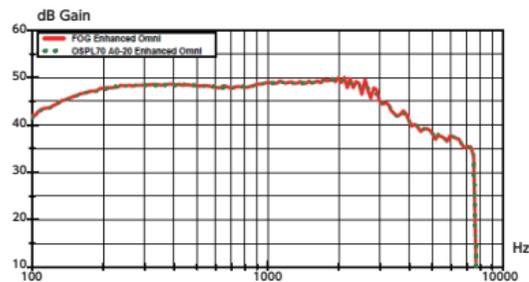
●90dB最大出力音圧レベル



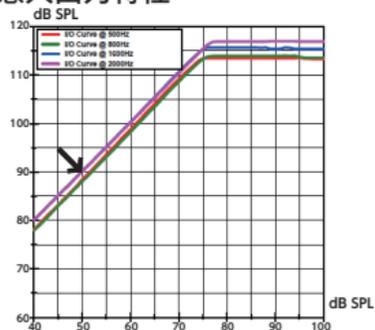
●周波数特性



●最大音響利得



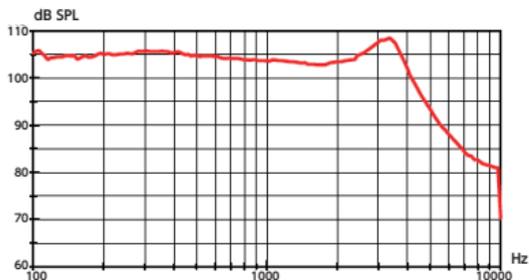
●定常状態入出力特性



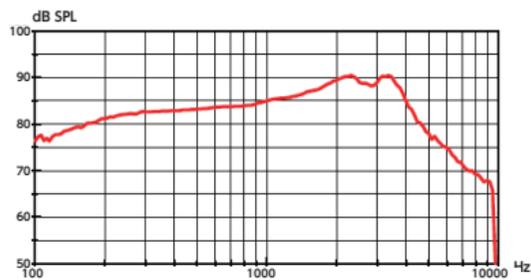
特性表

Own1 CIC (イヤホン75)

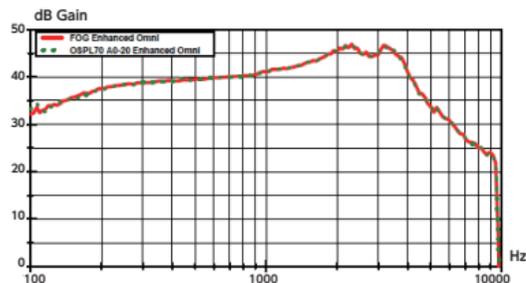
●90dB最大出力音圧レベル



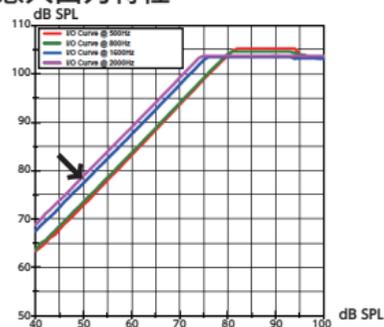
●周波数特性



●最大音響利得



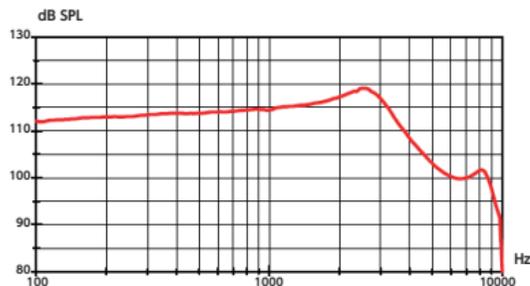
●定常状態入出力特性



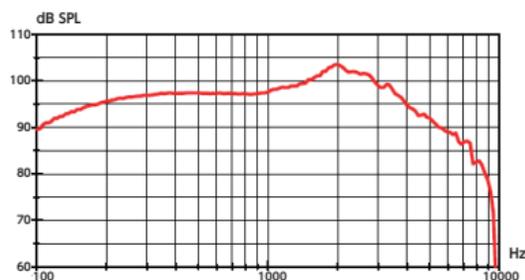
特性表

Own1 CIC (イヤホン90)

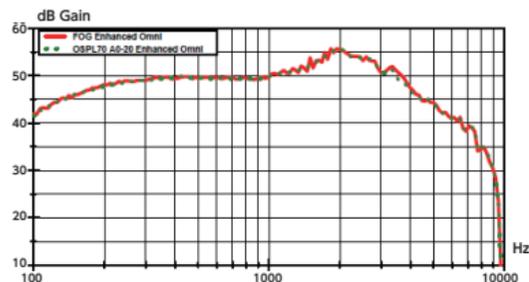
●90dB最大出力音圧レベル



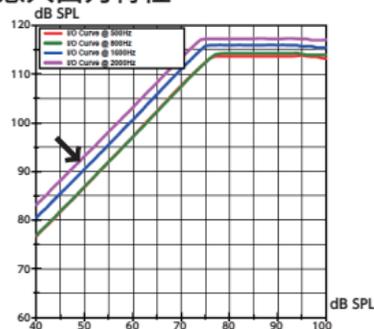
●周波数特性



●最大音響利得



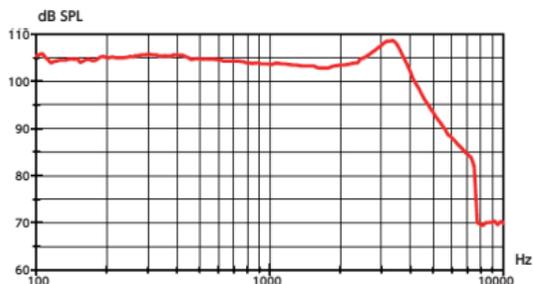
●定常状態入出力特性



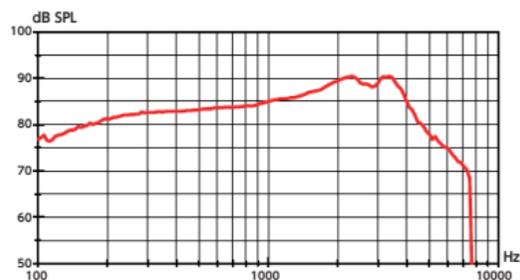
特性表

Own2 CIC , Own3 CIC , Own4 CIC , Own5 CIC (イヤホン75)

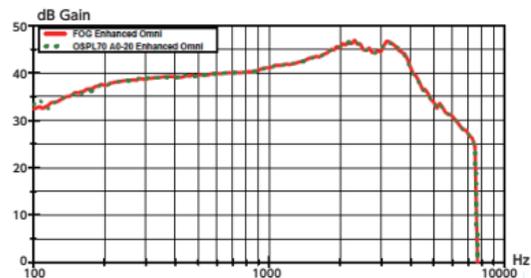
●90dB最大出力音圧レベル



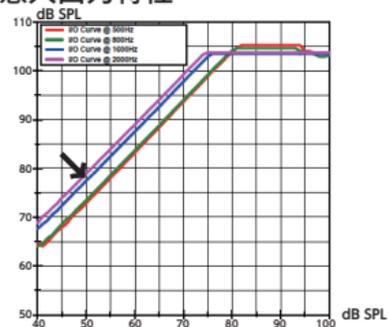
●周波数特性



●最大音響利得



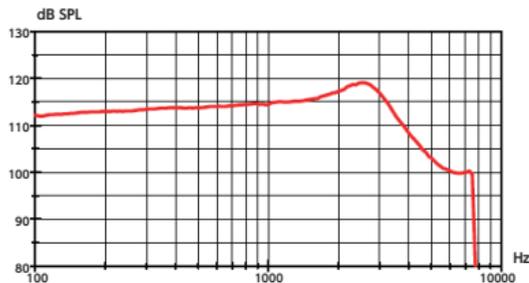
●定常状態入出力特性



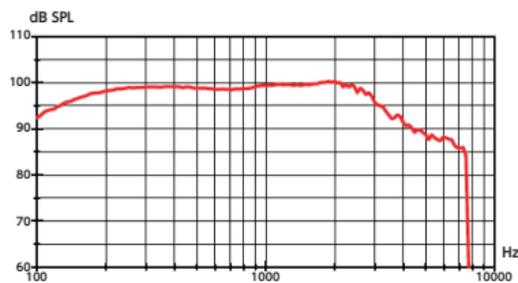
特性表

Own2 CIC , Own3 CIC , Own4 CIC , Own5 CIC (イヤホン90)

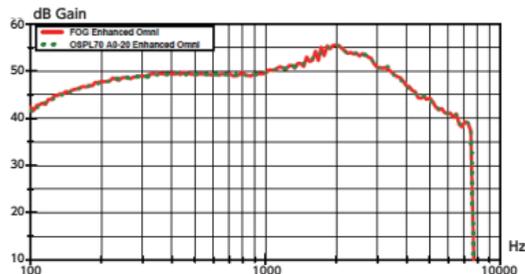
●90dB最大出力音圧レベル



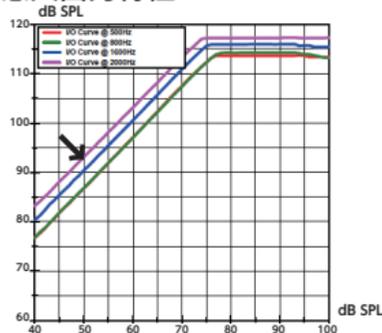
●周波数特性



●最大音響利得



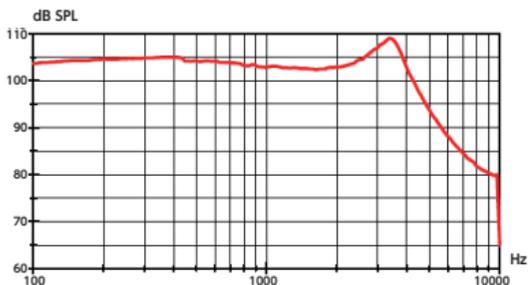
●定常状態入出力特性



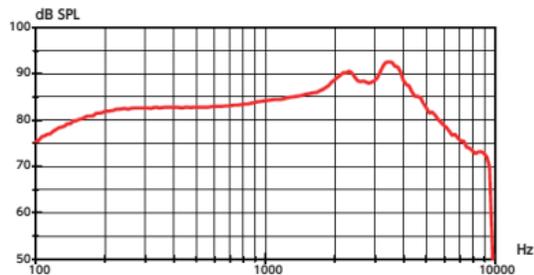
特性表

Own1 ITC (イヤホン75)

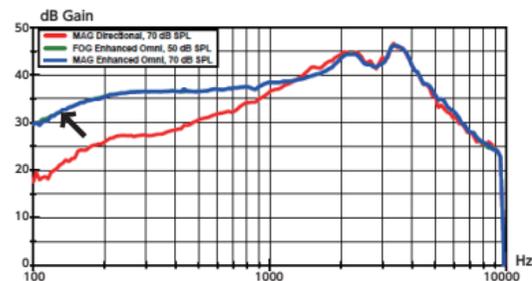
●90dB最大出力音圧レベル



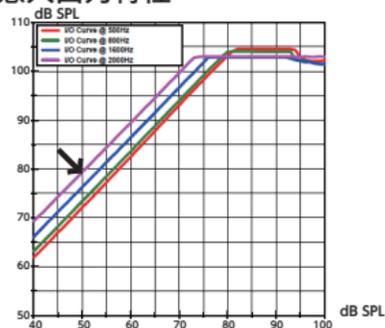
●周波数特性



●最大音響利得



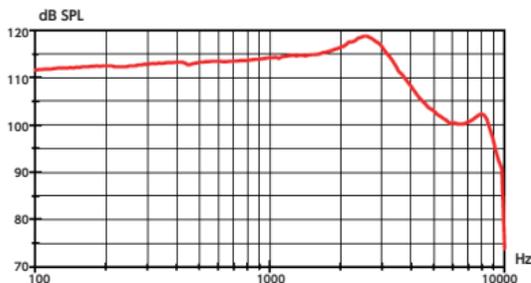
●定常状態入出力特性



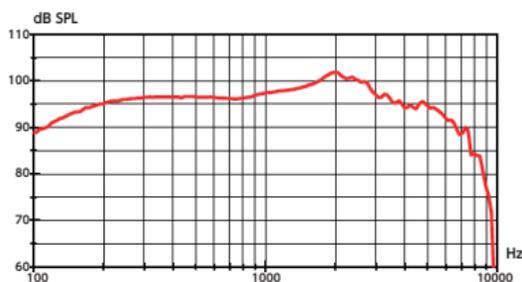
特性表

Own1 ITC (イヤホン90)

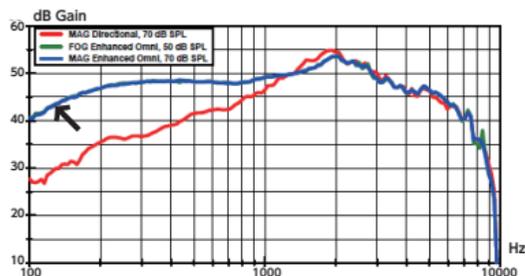
●90dB最大出力音圧レベル



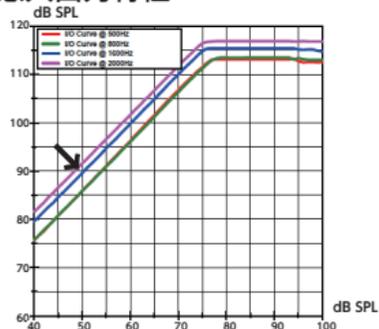
●周波数特性



●最大音響利得



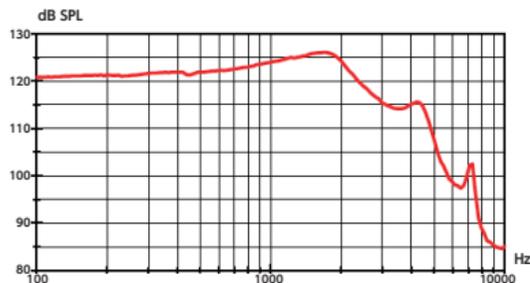
●定常状態入出力特性



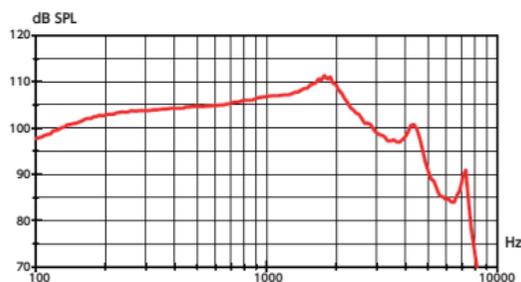
特性表

Own1 ITC (イヤホン100)

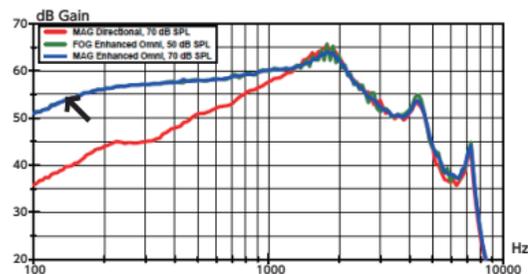
●90dB最大出力音圧レベル



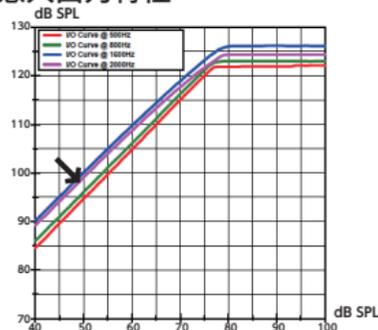
●周波数特性



●最大音響利得



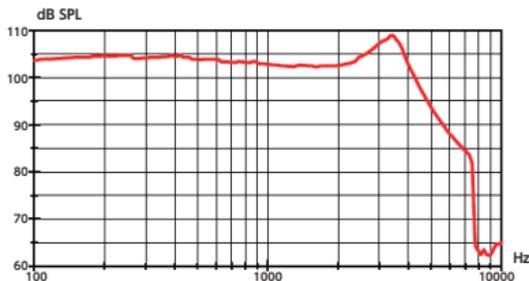
●定常状態入出力特性



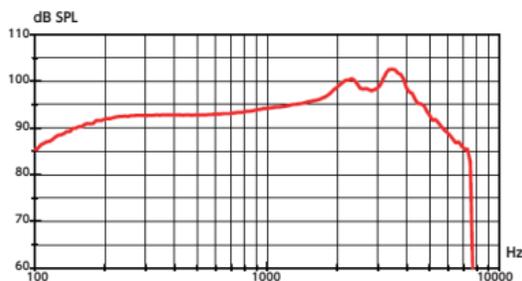
特性表

Own2 ITC/HS/FS, Own3 ITC/HS/FS, Own4 ITC/HS/FS,
Own5 ITC/HS/FS (イヤホン75)

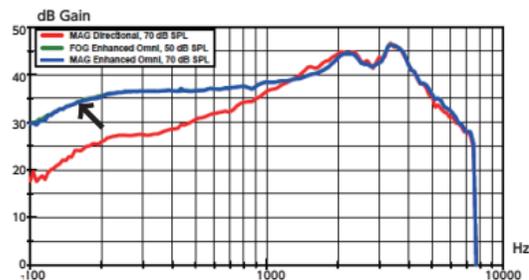
●90dB最大出力音圧レベル



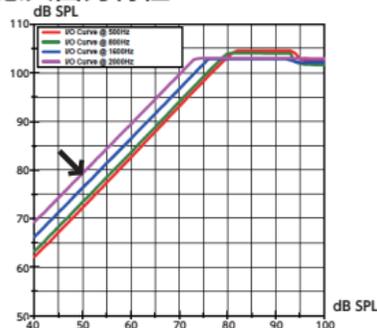
●周波数特性



●最大音響利得



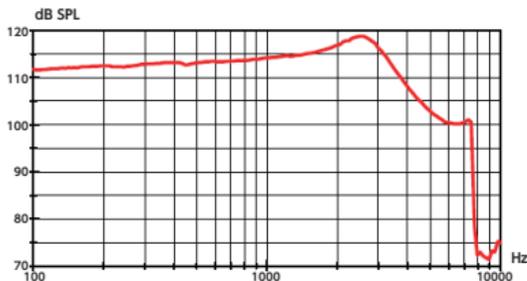
●定常状態入出力特性



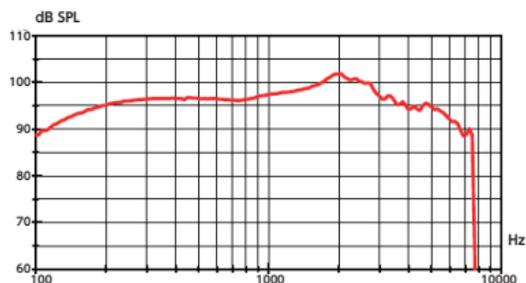
特性表

Own2 ITC / HS / FS, Own3 ITC / HS / FS, Own4 ITC / HS / FS,
Own5 ITC / HS / FS (イヤホン90)

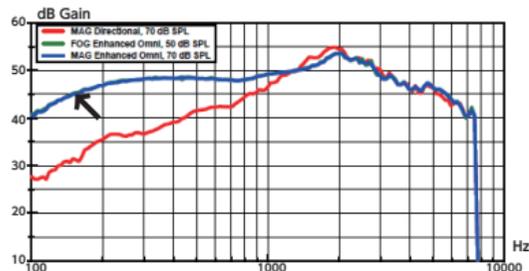
●90dB最大出力音圧レベル



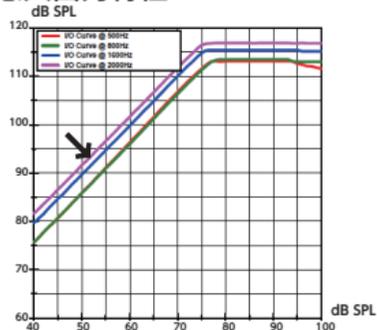
●周波数特性



●最大音響利得



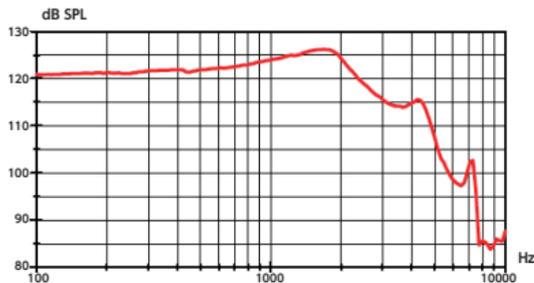
●定常状態入出力特性



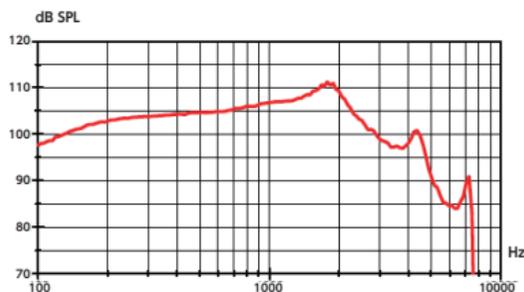
特性表

Own2 ITC / HS / FS, Own3 ITC / HS / FS, Own4 ITC / HS / FS,
Own5 ITC / HS / FS (イヤホン100)

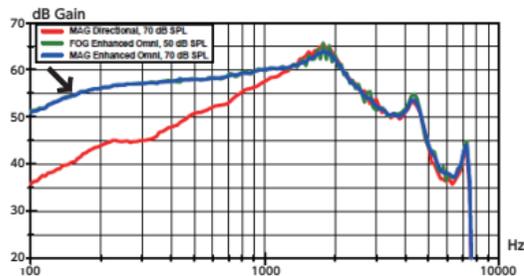
●90dB最大出力音圧レベル



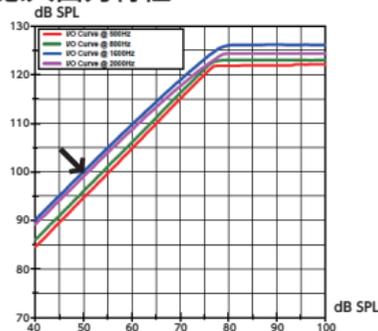
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性



技術適合基準、安全基準および認可番号

この補聴器には、下記の2つの無線送信機が搭載されています：

3.84MHzの短距離磁界誘導技術を使用した無線送信機を搭載しています。送信機の磁場の強さは非常に低く、常に $-40\text{ dB } \mu\text{ A/m}$ ($-12.20\text{ dB } \mu\text{ A/ft}$)@10m(33フィート)以下です。

また、ISMバンドである2.4GHz周波数帯を利用したBluetooth Low Energy(BLE)及び独自の短距離無線技術を使用した無線送信機も搭載しています。

無線送信機は弱く、常に3mW未満であり、総放射電力は4.8dBmに相当します。

本製品は、電磁両立性と人体への曝露に関する国際的な規格に適合しています。本製品は無線通信が許可されている場所でお使いください。

同補聴器は大きさが限られているので、認可規格の表示は本書に示されています。

詳細な情報は下記URLのテクニカルデータシートを参照ください：

www.oticon.co.jp

メーカーは、本製品が2014/53/EU指令の基本要件及びその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

本医療機器は欧州医療機器規制 (EU) 2017/745 に準拠しています。

この補聴器に関する適合宣言は、下記製造者より入手可能です。

Oticon A/S
Kongebakken 9
DK-2765 Smørum
Denmark
www.oticon.global/doc

CE 0123



SBO Hearing A/S
Kongebakken 9
DK-2765 Smørum
Denmark



Waste from electronic
equipment must be
handled according to
local regulations.



 **Bluetooth®**



本書で使用される凡例



注意事項

本記号の記された事項は、製品の使用前に必ずお読みください。



メーカー

本製品メーカーの名称と住所は記号の横に記載されています。これは欧州指令2017/745に定義されている通りの医療機器メーカーであることを示します。



CEマーク

全ての関連する欧州指令・規則に準拠しています。
4桁の数字は、通知された認証機関の識別を示します。



Electronic waste (WEEE) / 廃棄

Recycle hearing aids, accessories or batteries according to local regulations.
Hearing aid users can also return electronic waste to their hearing care professional for disposal. Electronic equipment covered by Directive 2012/19/EU on waste and electrical equipment (WEEE).

本記号は、補聴器やその付属品、電池を通常と異なる廃棄物の処分が求められる可能性があることを示します。処分される際はお住いの自治体が定める方法に従ってください。



Regulatory Compliance Mark (RCM)

The device complies with electrical safety, EMC and radio spectrum requirements for devices supplied to the Australian or New Zealand markets.

IP68

IPコード

本記号は有害な水や粒子分子の侵入に対する、EN 60529に準じた保護等級を示します。IP6Xは完全な防塵保護を示します。IPX8は継続して水に浸された場合の保護を示します。



Bluetooth ロゴ

Bluetooth SIG, Incの登録商標であり、これを使用するにはライセンスを要します。

Available on
iPhone | iPad | iPod

Made for Apple バッジ

デバイスがiPhone、iPad、iPod touchに対応していることを示します。



Android バッジ

デバイスがAndroidに対応していることを示します。



ヒアリンググループ

このロゴは補聴を表す普遍的なシンボルです。「T」の文字はヒアリンググループが設置されていることを示します。



無線周波数 (RF) トランスミッター

本製品はRFトランスミッターを搭載しています。

GTIN

Global Trade Item Number

医療機器用ソフトウェアを含む医療機器を識別するための14桁のグローバル識別コードです。本書に記載されるGTINは医療機器ファームウェアに関連します。法規パッケージラベル上に記載のGTINは医療機器ハードウェアに関連します。

FW

FW

デバイスで使用されているファームウェアバージョンを示します。

パッケージラベルで使用される凡例



湿気厳禁

湿気から保護する必要のある医療機器を示します。

REF

カタログ番号

医療機器を識別するためのメーカーのカタログ番号を示します。

SN

シリアル番号

特定の医療機器を識別するためのメーカーのシリアル番号を示します。

MD

医療機器

本製品は欧州指令・規則に基づく医療機器です。

補聴器の設定

専門家記入欄

耳鳴りサウンドサポート:使用上限

<input type="checkbox"/>	使用上限なし		
	プログラム	適正音量 (耳鳴り)	最大音量 (耳鳴り)
<input type="checkbox"/>	1	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
<input type="checkbox"/>	2	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
<input type="checkbox"/>	3	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
<input type="checkbox"/>	4	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間

パワータイプ補聴器 はい いいえ

補聴器設定の概要

左

右

はい いいえ

音量調節

はい いいえ

はい いいえ

プログラム切り替え

はい いいえ

はい いいえ

スタンバイ(消音)

はい いいえ

はい いいえ

耳鳴りサウンドサポート

はい いいえ

音量調節インジケータ

オン オフ

最小/最大音量でのビーブ音

オン オフ

オン オフ

クリックによる音量変更

オン オフ

オン オフ

推奨音量でのビーブ音

オン オフ

電池残量インジケータ

オン オフ

電池切れ警告

オン オフ

249760P / 2022.10.18 / v1

製造販売業者：デマント・ジャパン株式会社
第2種医療機器製造販売業許可番号：14B2X10013
一般的名称：耳あな型補聴器
販売名：ベロックス耳あな型
認証番号：230AIBZX00027000